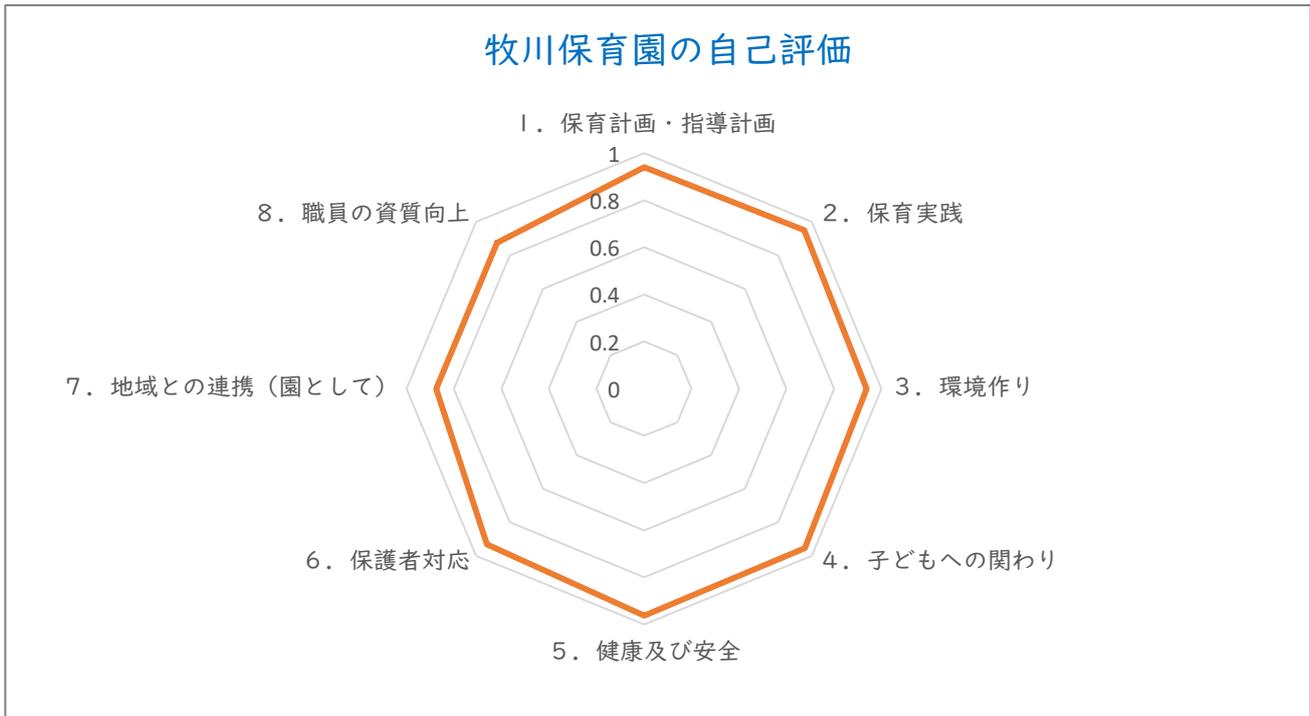


保育所保育指針では、保育の質の向上を図るため、「保育の計画の展開や保育士の自己評価を踏まえ、保育の内容等について、自ら評価を行い、その結果を公表するように努めなければならない。」ことが明記されています。当園では組織として自己評価に取り組みましたので公表します。



【総評】

- ・稲沢市の「子どもを尊重する保育」をもとに、意識を高く持って保育を進め、子どもが主体的に遊びを進められる環境作りや、一人一人に応じた丁寧な関わりを心がけて保育の振り返りをしたことで、園長や主任保育士を中心に子どもの成長を通して職員間で学び合い、保育の質の向上に繋げることができました。
- ・保護者との関わりを大切にして、活動記録等で情報発信をし、子どもの育ちや悩みを共有しながら保育を進めることを心がけたことで、保護者との信頼関係を築くことができました。
- ・地域とのつながりを大切にして、小学校やねんりんクラブの方との交流を図ったことで、地域に愛される保育園を目指すという意識が高まりました。

【今後の課題】

- ・異年齢交流も含めた、子どもが主体となった保育やインクルーシブ保育の更なる充実に向けて、保育の質の向上のために職員自らが何を学ぶべきかを考え、自分達で学び合うという意識を高め、学びを積み重ねることで、常に向上心を持ちながら保育を進めていけるように努めていきます。
- ・地域に愛される保育園として、情報発信を充実させ、地域や保護者を巻き込んだ保育を行ったり、小学校との交流を定期的に行えるように計画をし、就学への接続がスムーズになるようにしたりしていきます。



ふれあい遊び
(異年齢交流)

忍者ごっこ



園内研修
(本の読み合わせ)